

祝島の植物観察 山歩きマップ

②

「三浦湾」編

山口県熊毛郡上関町祝島

制作：祝島ネット21 (2025年9月発行)

◎三浦湾

ハートの形をした祝島のへこんだ部分が三浦湾です。集落からは海岸線の道路を5kmほど西に向かいます。目の前には美しいシルエットの小祝島(無人島)が浮かび、その向こうには九州の国東半島や姫島を望むことができます。三浦湾から眺める夕陽はとても綺麗で、観光客にも人気のスポットになっています。毎年6月には、クサフグの産卵を観察することもできます。祝島で四年に一度行われる「神舞神事」は、千年以上前の三浦湾での出来事が起源になっています。

◎植物観察のポイント

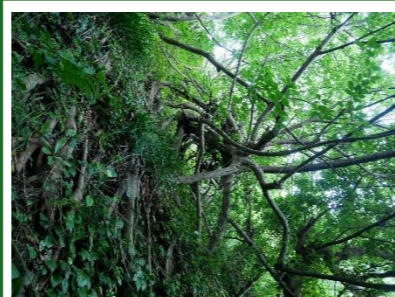
三浦地区へは距離があるため、自転車での移動が便利。美しい海岸線を走ると、すぐにたくさんのカジノキが迎えてくれます。また、ハマナデシコやボタンボウフウ、タイトゴメなどの野草が岩場を彩ります。このコースでは、天然記念物指定の学術的にも貴重なケグワやアコウ、シマサルナシ(こっこー)などを見ることができます。少し足を伸ばして寄り道してみてもいいでしょうか？亜熱帯のジャングルに迷い込んだかのような雰囲気も楽しめますよ。



三浦湾の波止場からの風景

※このパンフレットの制作は、(公財)日本離島センターの離島人材育成基金助成事業による助成を受けています。

「三浦湾」周辺でよく見られる植物



アコウ

多数伸ばした気根で断崖にしがみつこうようにして生えています。今にも動き出しそう。



マルバマンネングサ

夏に星型の花を散りばめる多年草。牧野博士の標本をもと新種発表されたのは有名な話。



シマサルナシ

徐福伝説に登場する仙果コッコーとして知られ、食べると千年長生きするとの言い伝え。



イタドリ

かつては茎や葉を染色に使いました。お屠蘇作りに用いられる植物でもあります。



ボタンボウフウ

ほとんど土もないような海岸崖地に生え、ボタンに似た葉は青磁色で美しい。花は夏。



クサギ

夏に咲く純白花は真っ青な空の色に映えます。花の爽やかな芳香も藍色の果実も魅力的。



三浦湾の夕景



ケグワ

西日本の沿岸域に自生する落葉高木。三浦地区に多く県天然記念物の巨樹もあります。



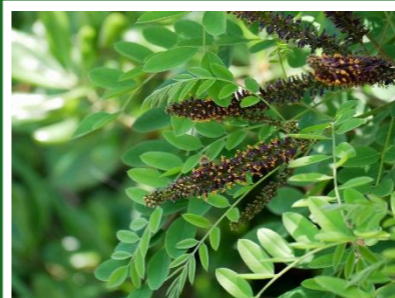
カジノキ

里山では和紙の原料用に植栽もされてきた落葉高木。神道では神聖な木のひとつです。



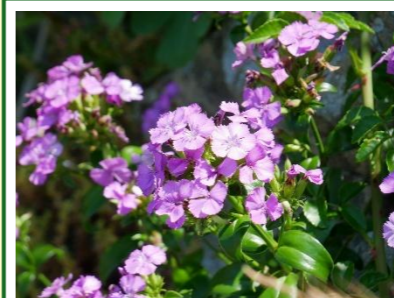
クスドイゲ

幹や枝には鋭い刺が生えています。珍しい南方系の木ですが、三浦の山中には群生も。



イタチハギ

かつて法面保護用に持ち込まれた、北米原産の外来種です。初夏に黒紫色の渋い花。



ハマナデシコ

夏から秋にかけて海岸線沿いの岩場を淡紫色の花で飾ります。別名はフジナデシコ。



タイトゴメ

米粒みたいな多肉植物です。初夏に星を散りばめたようにたくさんの黄花を咲かせます。



ハマクサギ

初夏の花は目立ちませんが、初秋の果実はオニキスみたいに美しい。葉には悪臭有り。

「三浦湾」周辺の山歩きマップ

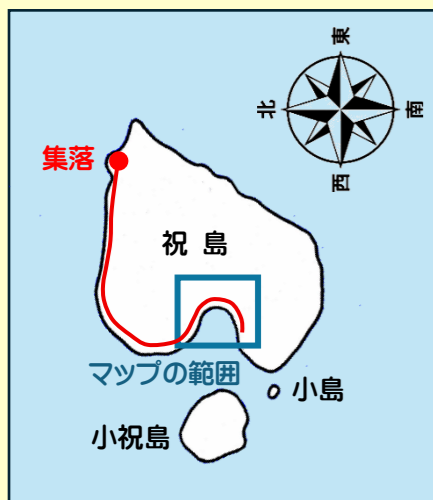
北野地区・集落へ

このルートでよく見られる植物

【ルート解説】

三浦湾方面へ行くにはレンタサイクルがおすすめです。潮風を浴びながら海岸道路をのんびりとサイクリングで楽しんでください。祝島港から海岸道路を西へ向かい、およそ4.2kmで三浦湾の小さい波止場に到着します。目の前には小祝島や小島、そして、その先には遠く九州の国東半島や姫島を望むことができます。波止場からさらに海岸道路を進むと途中から道幅が狭くなり、およそ1.3km付近で行き止まりになります。波止場から約100mの所に北野地区・森地区への上り口があります。ここからは坂道が続きます。

<注意> 自転車で山道を走るのは大変危険ですので、ご遠慮ください。



桂木大明神

集落へ ★アコウ

波止場から約600m

祝島港から4.2km

波止場

波止場から約100m

波止場から約200m

不老長寿の実
コッコー

農作業小屋

農作業小屋

北野と森への分かれ道



木下さんちの桜

森地区へ

波止場から約1km

波止場から約900m

農作業小屋

三浦湾から見える風景



波止場から約500m

ここから先は防波堤がなく道幅が狭い

県指定天然記念物
★ケグワ



目印の看板



この辺りからの風景

祝島港から5.5km

行き止まり



センニンソウ



シロザ



クサイチゴ



クサシギカズラ



ヒメウラジロ



ハマサオトメカズラ



ナンゴクウラシマソウ



テリハノイバラ



イチョウウキゴケ



セندان



ハゼノキ



ムサンアブミ



ミヤコジマツツラフジ



フウトウカズラ



ギンレイカ